		教科目名 防災工	学 (Disaster Prevention Engineer	ing)	
学科名・学年 : 土木工学科 5年 (教育プログラム 第2学年 科目)					
単 位 数 な ど : 必修 2 単位 (前期1コマ,後期1コマ,学習保証時間			5 時間)		
担	当 教				
授業	の概要				
(1)前期の「環境災害・水害」では,地球温暖化のメカニズムと気象に及ぼす影響,降雨と洪水の関係,水文統計を利					
	用した降雨強度,流量図,計画洪水量の算定,ならびに各種の水害対策等について講義する.(2)後期の「災害と危機				
管理」では,各種災害時における人間行動について,災害心理学的アプローチを試みる.防災のジレンマ,避難行動の メカニズム,避難行動に影響するヒューマン・ファクター,危険の予知と災害被害の相関,パニックについて,事例と					
「クガニスム, 西無11町に影響するとユーマン・ファクラー, 厄陝のゴルと炎苦板苦の相関, パニックについて, 事例と ともに講義を行う.					
_	1日標と評		大分高専目標	(B2), JABEE 目標(d1)(g)	
	(1) 環境災害,水災害,台風.地震,津波,火災などの災害の発生メカニズムを理解し,どのような防災対策をとるべ				
			りや災害が私達の社会に及ぼす影響について理	l解できる .(定期試験 , 70%)	
-		継続的に学習できる . (レポー		四四方 호수 그 노산	
回		授業項目	内 容 災害の種類と発生原因を理解できる.	理解度の自己点検	
1 2	1.総i	☆ 見災害・水害の種類と特徴	び苦の種類と先生原因を理解できる。 環境災害・水害の概要を理解できる。	【理解の度合い】	
3		て循環と気象	水文循環と気象との関係を理解できる。		
4		雨の種類と特性	降雨の種類と特性を理解できる。		
5		は温暖化と気候変動	地球温暖化のメカニズムと ,地球温暖化		
6		求温暖化と気候変動	が気候に及ぼす影響を理解できる。		
7		上降下物による 被害	酸性雨の発生メカニズムを理解できる.		
8	前期中間	『試験 『試験の解答と解説	わからなかった部分を理解する.	【試験の点数】 点	
9		ਗ武験の解合と解説 ∇統計:ハイエトグラフ	わからなかった部方を理解する. 水文統計データや各種の流出モデルを	【理解の度合い】	
10		(ドログラフの推定	用いて、ハイエトグラフとハイドログラ		
11		国洪水量の決定	フを描くことができる.		
12		洪水と対策	所定の確率降雨強度と比流量 ,流域面積		
13		x氾濫と対策	から計画高水量を算定できる.		
14		明・波浪と対策	各種の水害対策を理解できる.		
15	前期期末	< 示試験の解答と解説	 わからなかった部分を理解する.	【試験の点数】 点	
16		この一般の一般でした。	正常性バイアスを理解できる。	【理解の度合い】	
17		言と人間	災害時の人間行動を理解できる.		
18	3.災害	言と人間	災害対応の類型を理解できる.		
19			防災のジレンマを理解できる.		
20		言被害を左右するもの 言被害をたたするもの	避難行動の重要性を理解できる。		
21 22		ቔ被害を左右するもの ቔ被害を左右するもの	避難行動の仕組みを理解できる. 避難行動に影響するヒューマン・ファク		
22			ターを理解できる.		
23	後期中間	『試験 『試験の解答と解説	 わからなかった部分を理解する.	【試験の点数】 点	
24		司試験の解合と解説 食の予知と災害被害の相関	わからなかった部分を理解する。 災害予知について理解できる。	【理解の度合い】	
24		後の予知と災害被害の相関	災害警報の機能を理解できる。		
26		後の予知と災害被害の相関	伝達と受容について理解できる。		
27	11.パニ	ニックという神話	パニックの意味を理解できる.		
28		ニックという神話	パニックの防止法を理解できる.		
29	13.事例	则研究	大分県の防災対策について理解できる.		
30	後期期オ	 ≂試験		【試験の点数】 点	
		₹試験の解答と解説	わからなかった部分を理解する.		
履修上の注意 必要に応じてレポートを課すので,常に災害・防災関係の情報には関心を払い情報を集めるように心がけること。			【総合達成度】		
教 科 書 広瀬弘忠「人はなぜ逃げおくれるのか		広瀬弘忠「人はなぜ逃げおく;	れるのか」, 集英社新書		
参考図書 石井一郎編著「防災工学」,森 末次忠司「河川の減災マニュフ					
関注	関連科目 構造力学 ,水理学 ,土質力学 ,都市計画,衛生工学 達成目標の(1),(2)について,定期試験とレポートで総合評価する.				
総〔	合 評 価	【総合評価】 点			
総合評価が 60 点以上を合格とする. 【総合評価】					

- -